

武蔵野市学習者用コンピュータ通信

第21号

発行

武蔵野市教育委員会指導課
令和4年10月

市ホームページにも、これまでのバックナンバーを含め掲載しております。

「学習者用コンピュータ通信」を検索していただくか、QRコードでアクセスしてください。



学習者用コンピュータ通信

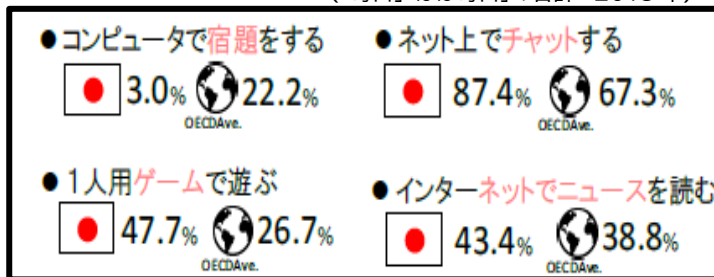
検索



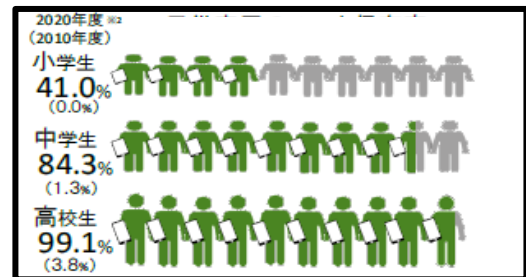
デジタル・シティズンシップ教育を推進しています！

武蔵野市では、デジタル・シティズンシップ教育を推進しています。デジタル・シティズンシップ教育とは「児童・生徒が「ICT を使うことが当たり前の社会に求められる『態度や知識・技能』を身に付ける」ための教育」を指します。これまでも学校やご家庭で、情報モラル教育が行われてきました。情報モラル教育ではデジタル機器やインターネットの使用についての危険性を教えることで、トラブルから遠ざける「〇〇しない」という禁止する取り組みが中心でした。しかし、下の図のように子どもたちはスマホ等デジタル機器を使用しない生活を送ることは難しい現状です。

【学校外での平日にデジタル機器の利用状況(高校1年生)】
(「毎日」「ほぼ毎日」の合計 2018年)



【子供専用のスマホ保有率】



【出典:内閣府「Society 5.0 の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージの中間まとめ」】

これからは、デジタル機器を使いこなすことが当たり前の社会になることを踏まえ、子どもたちが、自律的・創造的にデジタル機器を利活用するために、自分自身で使い方を考えられることが大切です。

【情報モラル教育とデジタル・シティズンシップ教育の比較】

指導場面	今までの情報モラル教育	これからのデジタル・シティズンシップ教育
デジタル機器の使い方	学校や保護者が一方的に使用時間や使用場면을制限する	子どもたちが学校や保護者と一緒に適切な使い方を考える
SNSの使い方	SNSの危険性を訴えることで、使用を禁止、抑制する	使用する際の良さと危険性を理解し、適切な使い方を追求する

学校では、学習者用コンピュータのより良い使い方を、子どもたち自身が考えて使うことができるような指導を行っています。ご家庭でも、学習者用コンピュータ等デジタル機器のより良い使い方についてお子様と話し合う機会を作ってください。

(裏面あり)

第16回むさしの教育フォーラムにお越しください

11月5日(土)に武蔵野スイングホールで「第16回むさしの教育フォーラム」が開催されます。今回のテーマは「学校・家庭・地域で考えるこれからの ICT 教育」です。一人1台の学習者用コンピュータが導入され1年半が経ちました。「学校での学びがどう変わってきたのか。また、これからどう変わっていくのか。ご家庭でどのようなことが大切なのか。」といったことをテーマにパネルディスカッションを行います。

当日は、来場していただいた方々からもアンケートフォームを活用し、ご意見等を伺います。そのご意見を踏まえてパネルディスカッションが行われますので、ご来場いただき、様々なご意見をお聞かせください。来場の際は事前に下の QR コードを読み込み、申し込みフォームの送信をお願いいたします。

第16回 むさしの教育フォーラム

開催日程 令和4年11月5日(土)
13:00~15:00
会場 武蔵野スイングホール
武蔵野市境2-14-1



【申し込みフォーム】

パネルディスカッション1

「一人1台の学習者用 PC で子どもの学びは」どう変わったか
(学校での活用好事例の紹介・家庭学習での活用の様子)

パネルディスカッション2

「子どもの学びはこれからどこに向かっていくか」
(市が取り組むデジタル・シティズンシップ教育
皆で考える家庭・地域の不安や悩み)

正しい使い方を心がけましょう

学習者用コンピュータの活用が活発になるにつれ、故障して教育委員会に持ち込まれる件数が増えています。9月末の時点で昨年の 1.6 倍の故障機が持ち込まれています。机から落として破損してしまった等、ハードの故障は既に昨年1年間の故障件数と同じくらい発生しています。

また、充電できないといった電源の不具合も昨年度から多く発生していて、故障全体の約3割を占めています。原因の一つとして、純正のアダプターを使用していないことが考えられます。Type-C の充電器であれば充電可能ですが、故障を防ぐため、配付されている純正のアダプターを使用してください。

故障してしまうと、修理を終えてお子様の手元に戻るまで時間がかかってしまいます。日頃の学習に支障をきたさないためにも、より一層大切に使用するようお願いいたします。